

九州・沖縄地区の2月生コン出荷量（全生連九州地区本部）

前年同月比7.8%減、福岡県は7.8%増

全国生コンクリート工業組合連合会九州地区本部がまとめた7年度月別・地区別出荷実績によると、2月度は九州・沖縄地区（宮崎県を除く）で前年同月比7.8%減の合計60万6,883m³。

2月度の県別内訳は、「福岡県」が前年同月比7.8%増の21万7,756m³、「佐賀県」同6.2%減の2万1,912m³、「長崎県」同10.8%減の4万6,864m³、「熊本県」同15.4%減の9万3,528m³、「大分県」18%減の6万362m³、「鹿児島県」同14.1%減の6万9,603m³、「沖縄県」同15.8%減の9万6,858m³。福岡県が増加している。

7年度累計では、「福岡県」が前年度比2.6%減の243万839m³、「佐賀県」同4.9%減の28万1,126m³、「長崎県」同12.8%減の58万6,320m³、「熊本県」同16%減の106万9,890m³、「大分県」5.8%減の69万4,719m³、「鹿児島県」同14.8%減の82万4,551m³、「沖縄県」同7.5%減の118万6,279m³。九州6県と沖縄すべて昨年より減少した。が好調に推移している。